

# 編さん裏話を披露

## 「相模原事典」の涌田夫妻

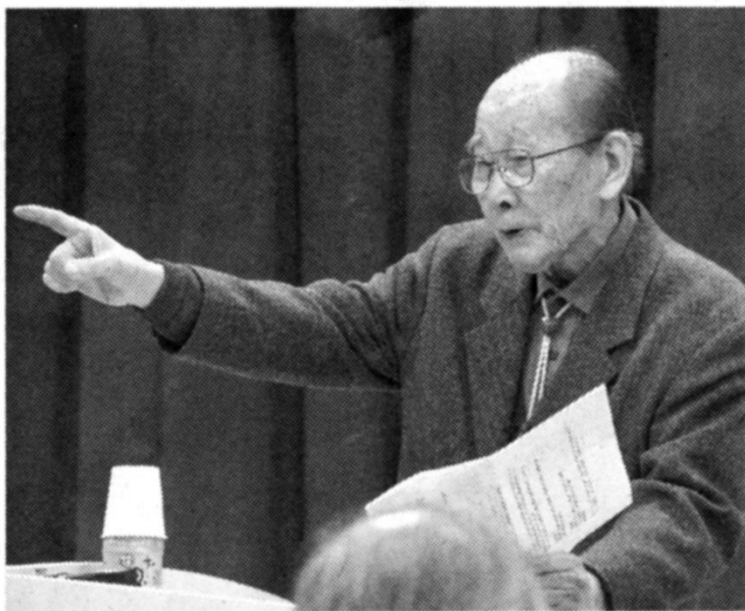
相模原市

相模原市にまつわるさまざまな事物をまとめた「相模原事典」（日相出版）について、編さんした郷土史家の涌田佑子さん（90）と妻久子さん（84）が9日に講演会を行った。市立相武台公民館に130人が集まり、発行に至るまでの裏話を耳を傾けた。

昨年3月に発行した「相模原事典」は、古代から現代まで相模原に関する自然や歴史、風俗、社寺、観光、出来事、人

物など1362項目を取り扱っている「百科事典」。編さんは人文系を佑さんが、自然系を久子さんが主に担当した。久子さんが運転する車で現地に足を運び、「自分の目で見て、関係者から話を聞く」現場主義を貫いた。

涌田さんは件名目録ごとにカードを作り、取材で分かったことを記入。五十音順にインデックスを付けた箱に収めていく作業を繰り返す。20年近



編さんに至った経緯について話す涌田さん

くの調査してきた結果を2004年4月から相模経済新聞紙で連載し、日相印刷の出版部門「日相出版」の協力で書籍化に至った。

佑さんは1989年に県立高校の教職員を退職後、文芸評論や郷土史研究の功績を残しつつ、相模原出身の社会的功労者を発掘。久子さんは市内



の小学校で教壇に立つ傍ら、郷土史研究者や市史編さん審議会委員として

市内文化の発展に寄与してきた。

（芹澤 康成）